

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年1月13日 (2011.1.13)

【公表番号】特表2010-514730(P2010-514730A)

【公表日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【年通号数】公開・登録公報2010-018

【出願番号】特願2009-543465(P2009-543465)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/5415 (2006.01)

C 0 7 D 471/08 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 P 13/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/5415

C 0 7 D 471/08

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 27/16

A 6 1 P 13/02

【手続補正書】

【提出日】平成22年11月19日 (2010.11.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

M₁、M₂ および M₃ ムスカリン受容体の選択的阻害により障害、病気および／または病態を予防または治療することを目的とした医薬組成物であって、10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジンまたはその薬学上許容される塩を含んでなる、医薬組成物。

【請求項 2】

鼻漏の処置を目的とした、特に鼻腔投与に適合する形態の、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

尿失禁および関連の障害の予防または治療を可能とする、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 4】

10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジンが、少なくとも95～100%の10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジン、96～100%の10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジン、97～100%の10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジン、98～100%の10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジン、99～100%の10-[(3R)-1-アザビシクロ[2.2.2]オクト-3-イルメチル]-10H-フェノチアジン、および純粋な10-[(3R)-1-アザ

ビシクロ〔2. 2. 2〕オクトー３－イルメチル〕－１０Ｈ－フェノチアジンを含んでなる混合物から選択される混合物である、請求項１～３のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項５】

失禁および関連の障害が、切迫尿意（排尿筋の反射亢進）、不随意に生じ、急な尿意をもたらす膀胱の異常収縮による失禁；腹圧性尿失禁；膀胱括約筋機能不全に関連する神経因性膀胱の失禁；外傷による失禁；尿道の異所吻合による失禁；遺尿（４歳を超える小児）から選択される、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項６】

泌尿器障害に関連する病態または症状が、膀胱過活動から誘発される細菌または真菌感染症である、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項７】

経口投与に適合した形態である、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項８】

$1\mu\text{g}\cdot\text{kg}^{-1}\sim 10\text{mg}\cdot\text{kg}^{-1}$ 、有利には $0.01\text{mg}\cdot\text{kg}^{-1}\sim 1\text{mg}\cdot\text{kg}^{-1}$ の経口投与形である、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項９】

有効物質濃度 $0.01\%\sim 10\%$ のゲルとしての局所用腔内投与形である、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項１０】

$10\text{mg}\sim 500\text{mg}$ の有効物質当量を含んでなる坐剤におけるオーブルとしての局所用腔内投与形である、請求項３に記載の医薬組成物。

【請求項１１】

血漿 1mL 当たり $0.2\text{ng}\sim 100\text{ng}$ の $10-[(3R)-1-アザビシクロ〔2. 2. 2〕オクトー３－イルメチル〕-10H-フェノチアジン$ 、有利には血漿 1mL 当たり $2\text{ng}\sim 50\text{ng}$ の $10-[(3R)-1-アザビシクロ〔2. 2. 2〕オクトー３－イルメチル〕-10H-フェノチアジン$ の、粘膜周辺の循環中への放出を可能とする用量の、腔リング徐放性デバイスの形態で腔内投与するためのものである、請求項３に記載の医薬組成物。